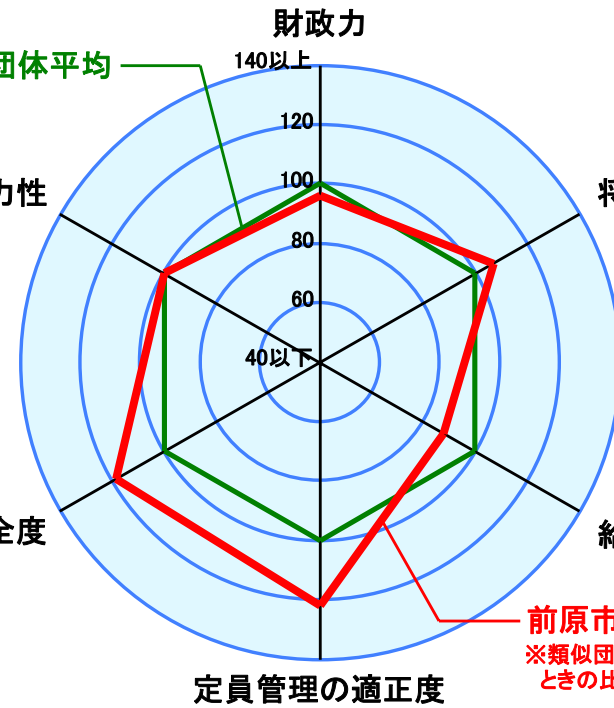


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 前原市

人口	68,079 人(H17.3.31現在)
面積	104.50 km ²
歳入総額	23,004,579 千円
歳出総額	22,510,749 千円
実質収支	462,766 千円



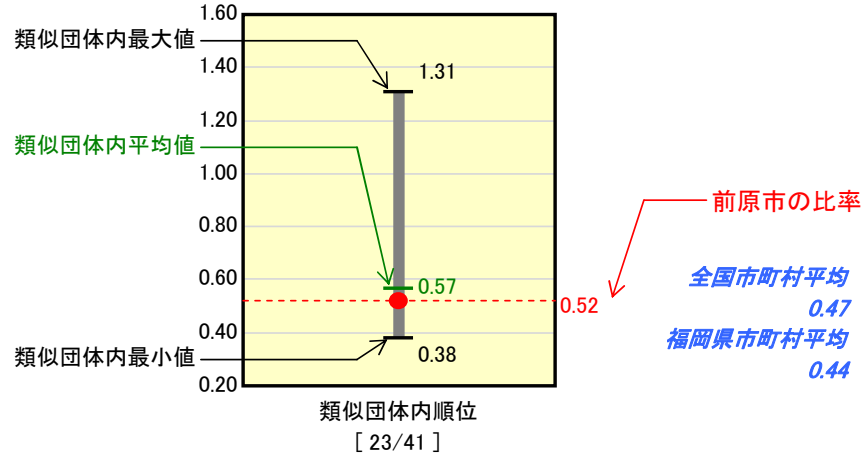
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 財政力指数
類似団体の平均よりやや低い位置にある。法人事業所が少なく個人市民税・固定資産税が大部分を占める脆弱な財政基盤となっているのが原因である。今後、新たな財源の確保を検討し、企業誘致・市街地整備の推進により、自主財源の確保を図っていく。
- 経常収支比率
経常的歳入一般財源である普通交付税、臨時財政対策債の大幅な減、及び経常的歳出一般財源である人件費・扶助費・公債費の大幅な増により財政構造の硬直化が進んだ。18年度以降は人件費の削減(給与カットなど)、物件費の削減(対前年度比▲10%)、事務事業の見直し等により経常収支比率の増加を抑制することとしている。
- 起債制限比率
類似団体の中では上位にあるが、平成21年度までは償還額は上昇する見込である。学校、市営住宅等の社会基盤整備についてはピークを過ぎたことから、今後の起債発行は財政計画に基づき更に慎重に行うこととしている。
- 人口1人あたり地方債現在高
類似団体の中では上位にある。前述のとおり社会基盤整備についてはピークを過ぎていることから、今後は減少に転ずるものと見込まれる。
- ラスパイレス指数
類似団体中で低い位置にあるが、17年度に通勤手当の国水準への見直しを行っており、今後も更なる適正化を図っていく。
- 人口1,000人当たりの職員数
従来少数精鋭の観点から定員管理を行っており、数値の低さは定員全国の類似団体中最も最上位にある。今後も前原市行財政健全化計画に基づき、退職者の不補充による職員数の削減を図り、市民サービスを低下させることなく更なる適正化を行っていく。

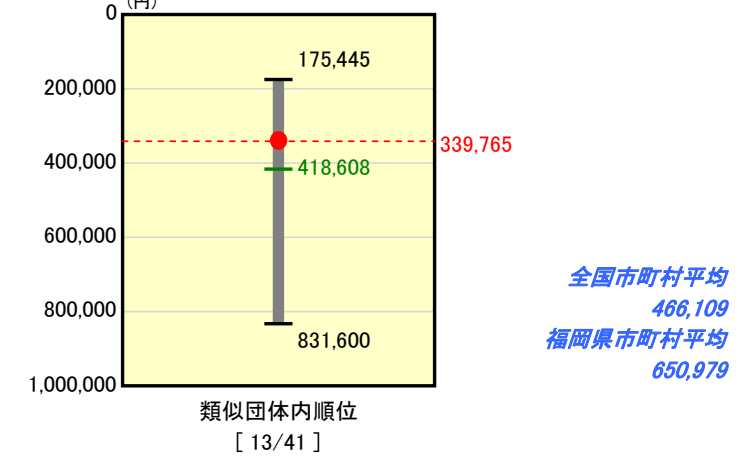
財政力

財政力指数 **[0.52]**



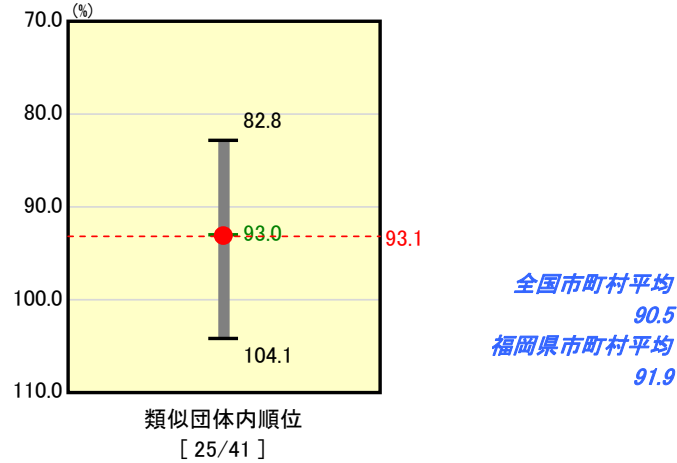
将来負担の健全度

人口1人あたり地方債現在高 **[339,765円]**



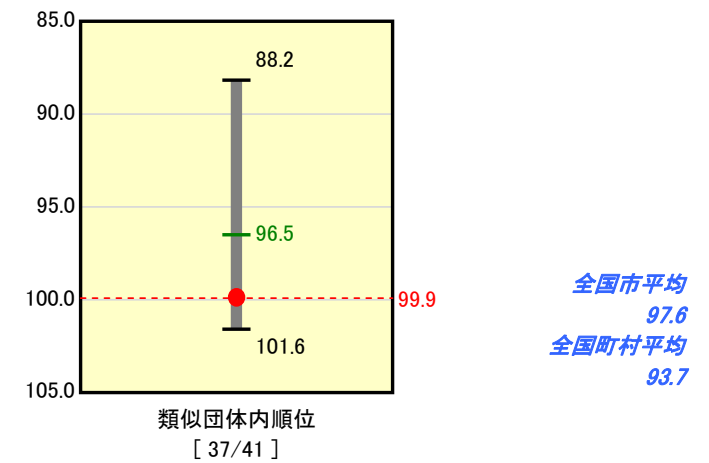
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[93.1%]**



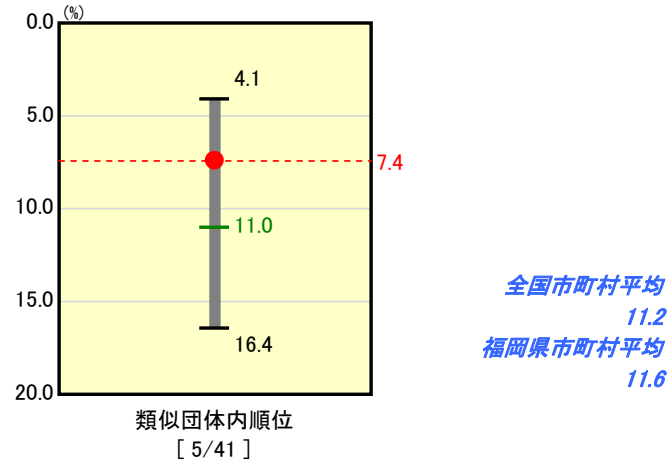
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[99.9]**



公債費負担の健全度

起債制限比率 **[7.4%]**



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[4.74人]**

